

令和6年度

福知山市教育委員会

# 点検・評価報告書

(令和5年度施策・事業対象)

令和6年12月

福知山市教育委員会

## 目 次

1	はじめに	1
2	令和5年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言	2
3	市教育行政の全体像	3
4	令和5年度の取り組み状況	4
5	教育委員会議、協議会の開催状況	1 2
6	教育委員会議での審議状況	1 2
7	教育委員会議以外の活動	1 7
8	教育委員会議の評価	1 8
9	施策の取組状況評価	1 9
	(1) 点検・評価の対象	1 9
	(2) 点検・評価の自己（教育委員会）評価方法	1 9
	(3) 評価委員による評価	1 9
	(4) 評価総括表（委員の主な意見）	2 0
10	おわりに	3 0
11	資 料	
	(1) 教育委員会組織機構図	3 1
	(2) 教育委員会事務分担表	3 2
	(3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱	3 3

## 1 はじめに

福知山市教育委員会では、教育行政の充実を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会の事務事業を「まちづくり構想 福知山」に示す施策について、点検・評価を実施し、本報告書を作成しました。

これは、これからの教育委員会のあり方を問われているものであり、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくことを強く求められているものです。

この点検・評価結果を教育行政の効果的推進に向けて、教育行政全般において各々の事業がもつ位置づけや目的、事業のあり方などを意識しながら、今後の教育行政の推進に適切に反映させていきたいと考えております。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕(平成20年4月1日施行)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 令和5年度福知山市教育委員会委員

教育長	廣	田	康	男
委員	塩	見	佳	扶子（教育長職務代理者）
委員	和	田	大	顕
委員	加	藤	由	美
委員	織	田	信	夫

## 2 教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言

・今後、事業を継続していく中で、人員の拡大や予算の拡充には困難が伴うことが考えられる。すでに取り組まれていることもあるが、ICT化の推進や外部リソースの積極的な活用により、教育に関わるすべての方々が疲弊しないような取組を全市的に実施されることを期待する。

・高齢であっても図書館へ行くことができるなど、誰でも多様な方法で生涯にわたって学ぶということは重要であり、今後もさらに安心して学ぶことができる場づくりの確保に向けて継続して取り組んでいただきたい。

・施設の老朽化が進行していく中、施設の維持改修は予算との関係において大きな課題であるが、優先順位を付けて効率的・効果的な予算執行がなされている点は評価できる。教育環境づくりに向けては、引き続き安心安全を第一としながら、省エネ化・再エネ化による環境への配慮を行うなど、一層の予算確保に努めていただきたい。

・多様な学びの創出や図書館サービスによる利便性の向上、地域公民館の多機能型住民センターとしての機能の充実等、市民生活と密接に関わっていることを実感できるように「見える化」した取組として成果を上げている。今後も様々な活動において、幅広く利活用できる環境づくりの一層の充実を期待する。

・安心して出産・子育てができる環境の充実や障害のある幼児児童生徒の適切な就・修学に対する支援、就学援助・奨励事業、いじめ防止対策、不登校への支援・対策等、隙間のないセーフティーネットを構築し、誰一人取り残さない地域社会の実現に向けて着実に成果をあげている。

・複雑化、多様化、高度化、深刻化する課題に対して、連携チームのように関連する分野が連携協働して、解決や解消にあたることは、有効かつ効果的である。今後も官民の連携も含めて、関係機関、学校、家庭、地域等の様々なリソースを結集し、継続して取組を進められたい。

### 3 市教育行政の全体像

憲法と教育基本法の理念に基づき、多様性あふれる高次機能都市の実現に向けて、社会変化に対応できる調和のとれた、心豊かな人づくりを目指しています。

そのためには、未来を担う子どもたちが目標を持ち、自ら学び自ら考え、夢に向かってたくましく生きていくためのよりよい環境を最優先に考えて整備し、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の増進などの「生きる力」の育成と生涯学習の積極的な推進を目標に、学校教育と社会教育が緊密な連携を進め、家庭・地域社会・学校の実態に即して、中長期的な展望に立った特色ある教育活動により、「教育のまち福知山」を創造していかなければなりません。

#### 【教育のまち福知山】

「教育のまち福知山」という言葉は、昭和 50 年代のはじめ、本市教育委員会が展開した「こだま教育運動」の中で生まれた。この運動は、家庭、地域社会がそれぞれの役割・責任を自覚し、互いに高まり合おうとする心がこだまし合って教育を尊ぶ気風のあるまちの創出をめざしたもので、「響育(共育)運動」といえるものであった。今もその精神は脈々と受け継がれており、教育によって学んだことを、自分の幸せや夢の実現のため(自己実現)に生かすだけでなく、人のため(他者貢献)に、社会のため(社会貢献)に生かそうとする志をもった市民が育つまち、そんな市民を育てようとする気風があるまちが「教育のまち福知山」である。

#### 福知山市教育の基本方針

##### 《基本方針 1》

お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

##### 《基本方針 2》

いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

##### 《基本方針 3》

その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

#### 福知山市の教育がめざす教育の方向

福知山市の教育がめざす方向は、知性を磨き、徳性を高め、健全で自立した人格をはぐくみ、併せて人々の幸福と社会の発展に寄与する行動力を兼ね備えた、新しい時代を切り拓く人材の育成にあります。

#### 福知山市の教育目標

自分のために    人のために    社会のために    共に幸せを生きる人材の育成  
(自己実現)        (他者貢献)        (社会貢献)

#### 【福知山市の教育目標】

この目標は、福知山市の「こだま教育運動」の精神や、「教育基本法第 1 条及び第 2 条第 3 項」並びに、福知山市の「市民憲章」を受けて定めたものである。

## 4 令和5年度の取り組み状況

### ○児童生徒の学力

令和5年の京都府学力診断テスト

実施日 : 小学校 5月22日～5月26日

: 中学校 5月15日～5月19日

対象者 : 市内14小学校 4年生682人 5年生623人 6年生664人

: 市内9中学校 1年生613人 2年生611人 3年生600人

受検科目 : 小学校 国語・算数

: 中学校 国語・数学・英語

実施主体 : 京都府

実施目的 : 学習指導要領に示す目標や内容に照らした学習の実現状況及び児童生徒の学習環境や家庭における生活状況等の特徴や課題など、児童生徒の「認知能力の伸び」と「非認知能力の変容」を継続的に把握する。その伸びや変容に影響を与える諸要因を客観的データに基づき分析・考察し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する教員の指導力等についての有用な情報を得ることにより指導上の課題を明らかにして、授業改善を推進し、確かな学力をはぐくむ。

実施方法 : 1人1台端末で出題及び解答【CBT (Computer based Testing)】

結果概要 : 本調査は、12ステップ36段階の学力ステップで児童生徒の学力を、児童生徒質問調査により非認知能力の傾向を知ることができ、児童生徒の学びの変容を把握するものである。そのため、問題は非公開となっている。教科の結果を学力ステップでみると、小学校国語については、4年生・5年生で府の学力ステップと同程度、6年生では府より下回っている。算数については、5年生・6年生で府の学力ステップと同程度、4年生では下回っている。中学校国語については、1年生では府のステップを上回っているが、2年生・3年生では下回っている。数学については、1年生・3年生で府と同程度、2年生では下回っている。英語については、2年生・3年生ともに府の学力ステップを下回る結果となった。

令和5年度全国学力・学習状況調査(概要)

実施日 : 令和5年4月18日(木)

中3英語・話すこと調査 令和5年4月24日～5月12日

対象者 : 市内14小学校 6年生655人

市内9中学校 3年生602人

受検科目 : 小学校 国語・算数

中学校 国語・数学・英語(話すこと調査)

実施主体：文部科学省

実施目的：義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要：小学校では、国語・算数ともに全国平均正答率と同程度であった。国語では、図表やグラフなどを用いて条件に当てはめて書くこと、複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら自分の考えをまとめることに課題が見られた。算数では、正三角形の意味や性質を理解して作図をしたり面積の大小を説明したりすること、割合の意味を理解し、説明することに課題が見られた。

中学校では、国語・数学は全国平均正答率を少し下回っている。英語については、全国平均正答率を大きく下回る結果となった。国語では、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えること、観点を明確にして文章を比較し、表現効果について考えることに課題が見られた。数学では、自然数・累積度数・反比例の意味理解、問題解決の過程や結果を振り返り事柄について説明すること、グラフから問題解決の方法を考え説明することに課題が見られた。

英語では、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞きとったり読み取ったりすること、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題が見られた。

以上が、令和5年度に、行われた京都府学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の概要である。調査から見える課題を整理し、学習指導要領の趣旨を生かし、児童生徒の学びの連続性を重視するとともに個別最適な学びを進め、学力向上の一層の充実を図っていくことが重要である。「福知山授業スタンダード」を活用し、付けたい力を明確にした「めあて」から「振り返り・確かめる」までの小中一貫した学びのスタイルを共有して、主体的・対話的で深い学びを小学校から積み上げていく必要がある。また、タブレット端末をはじめとする ICT 機器活用の効果を検証し、今後も有効な活用を進めるとともに、従来からの繰り返し読む・書くなどの学習とを効果的に組み合わせ、学力向上を図っていく。

福知山市では、教育委員会としても、学力の現状や現場のニーズを踏まえ、教育施策や教育施設等の教育環境の改善・充実を図り、事業等の成果指標に基づいた取組を進め、質の高い学力の充実・向上のために引き続き積極的な支援をしてきたい。

## ○いじめの状況

令和５年度中に市立小中学校で３回のいじめ調査（京都府２回、市独自１回）を実施した。いじめの認知件数の合計は、小学校で１，６７６件（前年　—１９件）、中学校で１１４件（前年　—１８件）であった。重大事態【生命・心身又は財産に重大な被害が生じた疑い、また相当の期間（年間３０日間を目安）学校の欠席を余儀なくされている疑いがある事案】は発生していない。認知したいじめについては、些細ないじめも重大ないじめに発展する可能性があるという認識のもと、個々の事案への対応をていねいに行っている。また、認知したいじめの状況について解消事案と未解消事案に区分し、未解消事案については「行為がやまず、嫌な思いをしている」「行為は止んでいるが、嫌な思いをしている」「『嫌な思いはない』が、行為が止んでいる期間が３カ月間に達していない」に分けて把握し対応している。

不登校につながる重大事態はなかったが、人間関係のトラブル等に起因して登校しにくい児童生徒は見受けられるので、欠席の裏に「いじめ」がないかについて常に注意し、学校と教育委員会が連携して指導、支援を行いながら不登校状態の改善に導いていく。

学校では、「未然防止、早期発見、迅速な対応、継続した見守り」をいじめ防止の基本としながら、いじめ調査のみならず、定期的を実施する生活アンケートや教職員による児童生徒の面談（教育相談週間の設定など）を実施するなど、日頃から児童生徒や保護者の思いに寄り添いながら、継続的・日常的に把握に努めている。

いじめ、自殺、児童虐待等子どもに関する問題が深刻化しているので、本市では教育委員会とＰＴＡが共催でネットいじめ防止を目的とした「いじめ防止講演会」や、親子で学ぶ「ネットトラブルストップ講座」を継続して実施するなど、家庭や地域と連携したいじめ根絶の風土づくりに取り組んでいる。

各校におけるいじめ防止にかかる取組を一層、充実させるとともに、学校だけの取組ではなく、地域や保護者と連携した取組を展開していく。

## ○不登校の状況

不登校の児童生徒数は、国や京都府の状況と同様に本市においても大きく増加傾向が続いている。学校としては、年間３０日を越える長期欠席者（とりわけ不登校）の未然防止（新たな不登校を生まない取組）や、個別指導の体制整備、また、関係機関と連携して個々に応じた支援ができるように取り組んでいる。

不登校総合対策事業である「心の居場所づくり推進事業」において、不登校の児童生徒が通う「けやき広場」では、不登校児童生徒の個々に応じた自立支援（学校復帰も含む）の取組を実施した。



令和4年度より福祉との連携、とりわけ家庭支援を含めた取組として「不登校支援連携チーム」を設置し、不登校児童生徒への支援を広げ、一定の成果をあげた。

教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする複雑・困難なケースが増えているなか、教育相談員、臨床心理士を中心に適切な支援を行っている。

不登校の未然防止・早期発見のため配置されている子どもよりそい支援員は、家から出にくい児童宅を訪問したり、教育相談に応じたりして家庭生活の基盤づくりへの支援を行った。また、スクールカウンセラーや心の居場所サポーター等と連携し、家庭と児童生徒、学校とをつなぎ、児童生徒の心の安定や自立のための支援に寄与している。

#### 本市の不登校児童生徒数・出現率の推移

	小 学 校	中 学 校
令和3年度	52人 (出現率 1.27%)	122人 (出現率 6.28%)
令和4年度	53人 (出現率 1.31%)	137人 (出現率 7.01%)
令和5年度	86人 (出現率 2.13%)	165人 (出現率 8.42%)

#### 【参考】

##### 不登校とは

年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、またはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）と文部科学省は定義している。

また、文部科学省の通知において、不登校児童生徒の支援に対する基本的な考え方として「学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある」としている。

## ○主な事業

### 教育総務課

#### 1 小学校水泳指導委託事業

安心・安全で質の高い学びの場を児童に提供するため、専門指導員による水泳授業の委託事業を小学校7校において実施した。昭和・大正・雀部・上川口・上豊富・大江の6校は屋内温水プールを利用して専門指導員による水泳授業を行い、三和では学校プールに専門指導員を派遣して水泳授業を実施した。

天候に左右されない安心・安全な環境で児童の泳力や命を守る能力の向上を図るとともに、教職員の水泳授業運営にかかる負担軽減に努めた。

#### 2 小・中学校施設環境改善事業

特別教室空調設備設置工事は、惇明、修斉、六人部の小学校3校のうち惇明は年度内に完了した。修斉と六人部は、電気資材の調達が困難な状況により年度内の完了が見込めなかったことから翌年度に繰り越し、令和6年5月に完了した。また桃映、日新、六人部の中学校3校は5月に契約を締結し、年度内に完了した。

特別教室空調設備設置工事に伴う設計業務は、昭和、大正、雀部、庵我の小学校4校、成和、川口、大江の中学校3校について、それぞれ一括発注し、来年度工事に向けて業務を実施した。

便所改修工事は、小学校は雀部小学校の管理棟便所、中学校は成和中学校の特別教室に付随する生徒用・教職員用の便所改修を行い、学校環境の改善を図った。

#### 3 小・中学校施設長寿命化事業

長寿命化事業における令和5年度工事発注分は2小学校と2中学校としており、令和5年度から6年度での継続工事1件を除く工事を年度内に完了した。

- ・惇明小学校南校舎高架水槽改修工事は、6月に契約を締結し、9月に完了した。
- ・庵我小学校高架水槽改修工事は、6月に契約を締結し、9月に完了した。
- ・桃映中学校管理棟ほか屋上防水改修工事は、7月に契約を締結し、11月に完了した。
- ・南陵中学校特別教室棟外壁ほか改修工事は、12月議会において承認を受け契約を締結し、令和7年2月完了を目途に、現在工事を進めている。

## 学校教育課

#### 1 市立学校アナザークラス（A組）開設事業

令和5年度から福祉と教育が連携して進める「福知山市型多様な学びアクションプラン」に基づき、所属する学級等になじめず、別室や放課後に登校する児童生徒を対象に、学校内の支援教室となるアナザークラス（A組）を設置した。

#### 2 「響」プラン・F 心の充実事業及びまなびの充実事業

令和2年度策定の福知山市立学校教育内容充実推進プラン（「響」プラン・F）に基づき、心の充実事業では、芸術や文化等の体験機会を充実させ豊かな人間性を育み、まなびの充実事業では、すべての子どもの学力向上・充実をめざして、基礎学力の定着や学力向上たくましく生きていく力を育むことを目的とした取組を実施した。

### 3 中学校部活動地域移行検討

令和5年度においては、令和5年度から学校、スポーツ協会、文化協会、学識経験者による「部活動改革検討会議」を設置し、5回協議を行い、本市の生徒にとって望ましい部活動の在り方や地域移行等について検討を行った。

また、地域移行に向けての令和5年度の実証事業としては、休日にホリデークラブとして、サッカーとソフトボール女子の2種目を実施し、サッカーは11回の実施で延べ281名、ソフトボールは22回の実施で延べ315名の参加があった。

## 生涯学習課

### 1 地域で支える「地域未来塾」開講事業

様々な理由により、家庭での学習が困難なことなどから、学習習慣が充分に身についていない中学生への学習を支援し、元教員など地域住民の協力による学習支援を実施した。

市立中学校全9校で、地域支援コーディネーターを中心に、地域や学校等と連携しながら「地域未来塾」を開講した。

### 2 放課後児童クラブ運営事業

保護者等が就労等により、昼間見守りができない小学生に対し、放課後や学校休業日に安心して遊びや生活ができる場を提供することで健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援した。

市内15か所で実施し、全小学校の全学年を対象に児童を受け入れ、見守りを実施した。長期休業期間利用を含めた登録児童数は、1,596人であった。

## 学校給食センター

### 1 学校給食管理運営事業

本市の学校給食は、各学校への副食の調理配送や施設の点検等を含めた業務を民間業者に委託して運営し、市立小中学校23校の児童生徒及び教職員約6,700人を対象に、安心安全な学校給食を年間約190回提供している。令和5年度から、学校給食費を市の会計に組み入れ、予算に計上し学校給食費の徴収・管理業務を行う公会計化に移行した。

### 2 学校給食センター設備改修事業

平成25年度から稼働している学校給食センターは、附帯施設や設備等の老朽化が進んでいるが、安定的に安心安全な学校給食を児童生徒に提供していくために、長期維持管理計画に基づき、施設・設備の修繕や工事、備品の購入等を行い、蒸気配管、ガス吸収式冷温水機、給食配送用コンテナ、受水槽定水位弁取替、蒸気ボイラーの給水ポンプ取替等の修繕を実施した。

### 3 学校給食センタージビエ活用事業

学校給食センターでは地産地消を推進し、児童生徒及び教職員に地場産物や多

様な食文化への理解を深めてもらうことを目的とし、シカやイノシシなどのジビエを使用した献立を学校給食に提供している。食材はジビエの認証施設で処理加工された安心安全な地場産を使用し、2回提供した。

## **図書館**

### **1 三和分館移転改修事業**

三和支所を地域の「教育と福祉の拠点」として機能充実を図るため、図書館三和分館を三和会館から三和支所2階に移転配置することとし、内装改修及び、三和支所全体の照明改修（LED化）、空調の改修工事を実施した。令和6年1月12日には、オープニングセレモニーを実施し、新たな地域の教育の拠点施設として図書館サービスの提供を開始している。

### **2 図書館電子書籍貸出サービス事業**

図書館サービスの更なる利便性向上と「with コロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、令和4年1月に導入した電子書籍貸出サービスは、同じシステムを導入している全国355図書館のなかで、人口千人あたりの貸出数と閲覧数の両方で昨年度に引き続き続全国1位になるなど多くの市民に利用いただいている。

## **中央公民館**

### **1 桃映地域公民館等整備事業**

体育館内に設置している桃映地域公民館について、生涯学習、人権、福祉、住民自治等の機能を統合した新たな拠点施設として新築整備を行う。

令和5年度は、桃映地域公民館の新築工事に着手した。

### **2 地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業**

「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む地域公民館を、バリアフリーかつ現代的な社会環境を備え、住民福祉、住民自治、避難所等、多機能で複合的な機能を有した新たな地域の拠点施設として活用するため、計画的に大規模改修し整備する。

令和5年度は、日新地域公民館・体育館の大規模改修工事が完了し、六人部地域公民館・体育館の大規模改修工事に着手した。また、川口地域公民館の大規模改修設計を実施した。

## **文化・スポーツ振興課**

### **1 文化財保全事業**

貴重な文化財を後世に伝えるため12件の文化財所有者と協議を重ね、必要な保全や修理を行うことができた。

## **2 日本の鬼の交流博物館運営事業**

本市の地域資源である鬼をテーマにした資料を展示する鬼文化の拠点施設として管理運営を行った。企画展3回、シンポジウム1回を行い、年間10,158人の来館があった。

## **3 川上南古墳群・笹尾矢見所城跡発掘調査事業**

民間開発により、同古墳群および同城跡が消滅するため発掘調査を実施。調査の結果、調査対象古墳9基のうち2基が古墳であると判明し、新たに2基の古墳を確認した。確認された計4基のうち、2基において埋葬施設と副葬品を確認。副葬品より古墳時代後期（6世紀中ごろ）の古墳が築造されたと判明した。残念ながら笹尾矢見城跡の遺構は確認できなかった。

## **子ども政策室**

### **1 幼児教育・保育無償化事業**

幼児教育にかかる保護者の負担軽減を図ることを目的として、国・府からの補助を受け私立幼稚園への保育料補助及び認可外保育施設や預かり保育事業等利用者に対する助成、公立幼稚園への給食費補助などを行った。

### **2 幼稚園一般管理事業**

共働き家庭の増加等の保護者ニーズに対応すべく、令和2年度より夏季、令和3年度からは冬季及び学年末休業の預かり保育を実施している。令和5年度から昭和幼稚園の空き部屋を活用して、子育て世代の保育ニーズに対応するため2歳児預かりを開始し、保育の充実につなげる取組みを行った。

## 5 教育委員会議、協議会の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催、また事前協議等のための「協議会」も開催しています。

(1) 教育委員会定例会 . . . . . 12回

(2) 教育委員会臨時会 . . . . . 6回

(3) 教育委員会協議会 . . . . . 12回

## 6 教育委員会議での審議状況

(1) 定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「福知山市教育委員会基本規則」第7条に定める事務について、令和5年度は合計41件について審議しました。

① 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること . . . 7件

② 委員会規則その他委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること . 4件

③ 教育予算、条例案、その他議会の議決を経るべき議案について . . . 18件

④ 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 . . . . . 4件

⑤ 委員会及び学校その他の教育機関の職員の人事に関すること . . . . 6件

⑥ 教育に係る表彰に関すること . . . . . 1件

⑦ 教育委員会点検・評価に関すること . . . . . 1件

令和5年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
4月26日	定例	議 1 号	専決 1 号	福知山市立小学校及び中学校教員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
		議 2 号		福知山市立保育園・幼稚園・こども園及び福知山市立学校における医療的ケア児の受け入れガイドラインの制定について
			報 1	教育長決裁による後援承認事項について (No.1～No.3)
			報 2	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
5月25日	定例	議 3 号	専決 2 号	令和5年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について
		議 4 号		福知山市立図書館協議会委員の任命について
			報 3	教育長決裁による後援承認事項について (No.4～No.14)
6月27日	定例	議 5 号		福知山市少年補導センター運営委員会委員の委嘱について
		議 6 号		福知山市立公民館運営審議会委員の委嘱について
		議 7 号		令和4年度一般会計教育費繰越調書の提出について
			報 4	教育長決裁による後援承認事項について (No.15～No.20)
			報 5	福知山市教育委員会事務局文書取扱規程の一部を改正する訓令について (教育長訓令甲)
			報 6	福知山市型多様な学びアクションプラン・部活動地域移行の状況について
7月26日	定例	議 8 号		福知山市文化財保護審議会委員の委嘱について
			報 7	教育長決裁による後援承認事項について (No.21～No.28)
			報 8	図書館三和分館移転に伴う休館について
			報 9	図書館三和分館移転オープンについて
8月4日	臨時	議 9 号		令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択について
8月22日	定例	議 10 号		福知山市指定文化財の指定について
		議 11 号		国指定に伴う福知山市指定文化財の指定解除について
		議 12 号		令和5年度教育委員会表彰について
		議 13 号		福知山市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について
		議 14 号		福知山市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について
		議 15 号		福知山市三和会館条例の廃止について
		議 16 号		工事請負契約の締結について (桃映)
		議 17 号		工事請負契約の締結について (六人部)
			報 10	教育長決裁による後援承認事項について (No.29～No.33)
9月20日	定例	議 18 号		福知山市就学援助に関する規則の一部を改正する規則の制定について
		議 19 号		令和6年度福知山市立幼稚園・こども園の園児募集について
			報 11	教育長決裁による後援承認事項について (No.34)
			報 12	就学援助 (新入学児童生徒学用品費) 入学前支給事務取扱要綱の一部改正について
			報 13	福知山市保育園・幼稚園等整備計画 (案) について
			報 14	いじめ調査の結果について
			報 15	令和5年度 全国・京都府学力学習状況調査結果について
			報 16	管理職候補者の受験面接について

令和5年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
10月24日	定例		報 17	教育長決裁による後援承認事項について (No.35～No.40)
			報 18	杉本敬三シェフ考案学校給食メニューの実施について
11月17日	臨時	議 20 号		令和6年度福知山市立学校職員人事異動方針の策定について
11月21日	定例	議 21 号		工事請負契約の締結について
		議 22 号		令和5年度一般会計教育費補正予算要求書債務負担行為（追加）の提出について
		議 23 号		福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
		議 24 号		福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
			報 19	教育長決裁による後援承認事項について (No.41～No.44)
			報 20	令和5年度福知山市立図書館蔵書点検の実施について
12月15日	臨時	議 25 号		福知山市立中学校教員の処分内申について
12月27日	定例	議 26 号		職員の異動発令について
			報 21	教育長決裁による後援承認事項について (No.45～No.49)
			報 22	災害時等における被災児童及び生徒に対する学用品等支給要領の一部改正について
			報 23	令和6年福知山市二十歳を祝う会について
			報 24	令和6年度入園 福知山市立幼稚園・認定こども園（教育認定枠）の募集結果について
1月24日	定例	議 27 号		教育委員会事務点検評価について
			報 25	教育長決裁による後援承認事項について (No.50～No.51)
			報 26	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
2月20日	定例	議 28 号		令和6年度学校教育の重点について
		議 29 号		令和6年度社会教育の重点について
		議 30 号		はばたけ世界へ中学生短期留学援助費支給要綱の制定について
		議 31 号		福知山市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議 32 号		令和5年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書及び繰越調書の提出について
		議 33 号		工事請負契約の変更について
		議 34 号		物品の取得について
		議 35 号		財産の無償貸付について
		議 36 号	専決 3 号	損害賠償の額について
		議 37 号		福知山市教育集会所条例の一部を改正する条例の制定について
		議 38 号		令和6年度予算事業概要について
			報 27	教育長決裁による後援承認事項について (No.52～No.57)
			報 28	福知山市立小中学校共同学校事務室設置要綱の一部改正について
			報 29	福知山市人権保育基本方針の策定について
			報 30	外部団体との連携協定について
2月22日	臨時	議 39 号		教職員人事異動内申について



令和５年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
３月４日	臨時	議 ４０ 号		教職員人事異動内申について
３月１４日	臨時	議 ４１ 号		教育委員会事務局及びその他の教育機関の職員の異動発令について
３月２１日	定例		報 ３１	教育長決裁による後援承認事項について（No.58～No.62）
			報 ３２	福知山市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令について
			報 ３３	福知山市通級指導実施要綱の一部改正について
			報 ３４	令和６・７年度福知山市教育委員会研究開発指定校実施要領の策定について
			報 ３５	令和５年度 福知山市立図書館蔵書点検結果報告について

## (2) 教育委員会協議会

「福知山市教育委員会基本規則」第4条により開催した協議会において、  
案件一覧表のとおり令和5年度は合計25件について協議しました。

### 令和5年度 教育委員会協議会 案件一覧表

開催日	番 号	件名
4月26日	1	教育長報告事項について
5月25日	2	教育長報告事項について
6月27日	3	教育長報告事項について
	4	令和5年度福知山市総合教育会議の議題について
	5	令和5年度学力調査の実施について
7月26日	6	教育長報告事項について
8月23日	7	教育長報告事項について
	8	ラーニングイノベーション・プロジェクトについて
	9	「人と環境に優しい 環境配慮型学校給食食器」導入記念セレモニーについて
9月20日	10	教育長報告事項について
10月24日	11	教育長報告事項について
	12	総合教育会議について
11月21日	13	教育長報告事項について
	14	令和6年度学校教育の重点（案）について
	15	令和6年度社会教育の重点（案）について
12月27日	16	教育長報告事項について
	17	令和6年度けやき賞について
	18	令和6年度社会教育の重点（案）について
1月24日	19	教育長報告事項について
	20	令和6年度学校教育の重点（案）について
	21	令和6年度社会教育の重点（案）について
	22	令和6年度小中学校入学予定者数について
	23	福知山市スポーツ推進計画の中間評価・見直しについて
2月20日	24	教育長報告事項について
3月21日	25	教育長報告事項について

## 7 教育委員会会議以外の活動（教育委員が出席した活動等）

月	各種行事・大会等	
	福知山市関係	国・府関係
4月	新任校長就任式 第1回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	
5月		中丹地方教育委員会連絡協議会教育委員総会・研修会 第1回中丹地区教科用図書採択協議会 京都市市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
6月	指導主事学校園訪問参加	
7月	指導主事学校園訪問参加 青少年健全育成大会 第2回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	中丹地方教職員研修大会 第2・3回中丹地区教科用図書採択協議会 市町村教育長・教育委員研究協議会
8月	学校教育振興会研修会 はばたけ世界へ中学生短期留学報告会	
9月	指導主事学校園訪問参加 環境配慮型学校給食食器導入記念セレモニー	
10月	指導主事学校園訪問参加 福知山市学校保健研究大会 日新地域公民館リニューアルオープン記念式典	
11月	指導主事学校園訪問参加 福知山市立小学校音楽祭 総合教育会議 教育委員会表彰式	近畿市町村教育委員会研修大会 京都府内市町（組合）教育委員会研修会
12月	指導主事学校園訪問参加 第3回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	中丹地方教育委員会連絡協議会教育研究視察
1月	令和6年福知山市二十歳を祝う会 図書館三和分館移転オープニングセレモニー	
2月	第4回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	
3月	市立小・中学校卒業式	

## 8 教育委員会議の評価（成果と課題）

### 【成 果】

- 1 事務局から事前に資料提供を受け、各教育委員は十分に内容把握の上、会議に出席し検討を行った。また、会議では、活発な意見交換を行い、議案等の審議においても事務局からの説明に対して必要な指摘や質問を行った。
- 2 緊急な案件について、適宜適切に報告をうけ、教育委員会と事務局との一層の連携を図った。特に重要な事案については迅速に臨時の教育委員会を招集し対応した。
- 3 教育委員会のホームページに教育委員会議の会議録を掲載することにより、情報発信ができた。会議の討論内容を公開することで、市民に広く周知する機会をつくることができた。
- 4 これからの福知山市の教育について、総合教育会議で市長と協議・調整することで連携することができた。
- 5 指導主事の学校訪問に教育委員も積極的に参加し、学校経営の様子や児童生徒の様子を確認することができた。

### 【課 題】

- 1 市民に開かれた教育委員会議となるように、教育委員会の取組を迅速に広報することにより、さらに市民の関心や理解を深める。
- 2 研究大会や研修会に参加した成果を相互に情報共有し、共通理解をし、さらなる充実した会議につなげる。
- 3 総合教育会議等を通じ、市長部局との連携を深め、教育施策の方向性を共有する。
- 4 「自分のために、人のために、社会のために、共に幸せを生きる人材の育成」を目標とし、「教育のまち福知山」のさらなる充実を図る。

## 9 施策の取組状況評価

### (1) 点検・評価の対象

教育委員会が行った全事業（補助執行事業を含む）

### (2) 点検・評価の自己（教育委員会）評価方法

事務事業評価シートの「施策・施策成果指標に対する貢献度」は、当該事業の上位施策や施策成果指標に対する貢献度を4段階（高い・やや高い・やや低い・低い）で自己評価しています。

教育委員会の点検・評価については、事務事業評価シートの業績指標の「成果実績（実績／目標）」に重点を置き点数化しました。

また、「成果実績（実績／目標）」のほかに「定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題」も含めて、事業単独での成果を達成度により評価し、4段階（高い5点・やや高い4点・やや低い2点・低い1点）で点数化しています。

教育委員会としては、「まちづくり構想 福知山」の施策毎に評価点の平均値を算出し、下記の「施策の評価基準」に基づき、4段階（A・B・C・D）での評価としました。

#### ○施策の評価基準

評価	基準	施策毎の平均値	施策毎の目標達成度
A	目標に対し達成度が高い	5.0	100%
B	目標に対し概ね達成できている	4.0～5.0未満	75%～100%未満
C	目標に対し達成度がやや低い	3.0～4.0未満	50%～75%未満
D	目標に対し達成度が低い	3.0未満	50%未満

### (3) 評価委員による評価

評価に関しては、教育に関し学識経験を有する方の御協力を得て、教育委員会から主な事業の説明を行い、自己評価を基に評価委員から客観的にA・B・C・D「+、-」で評価をしていただきました。

#### 教育委員会事務 点検評価委員（敬称略）

氏 名	所 属 等
井 上 雅 道	元小学校長
佐々木 康 子	主任児童委員
大 谷 杏	福知山公立大学准教授

#### 点検・評価会議開催期日

令和6年10月24日、10月31日、11月14日

#### (4) 評価総括表(委員の主な意見)

政策	施策目標	施策	教育委員会		委員の主な意見	最終評価
			平均値	評価		
1	1.協働・共創のまちづくり基盤の整備	①地域組織や地域活動の活性化	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部休止中の公民館はあるものの、住民活動に根差した公民館活動が全市規模で地域の実態に即して継続実施できていることについて評価できる。</li> <li>・地域人材の育成や組織体制の確立等の課題を踏まえて、各公民館の実情や地域性などに応じて、地域に根付いた活動として持続できるような施策を展開されることを望む。</li> <li>・人材不足が課題であることから、なるべく様々な世代の人に入ってもらえるよう負担の少ない運営方法を模索していく必要があるのではないかと。</li> </ul>	B+
2	1.防災・減災、災害対策の強化	①地域防災力の強化と減災対策の推進	5.0	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が多い中で地震以外の災害への教育も必要となる。</li> <li>・現場も満足のいく形で実施出来ているが、ヘルメットや防災頭巾の配備状況など学校によって異なる部分もある。児童生徒の安心安全を考えると、全的に統一されることを望む。</li> <li>・発達段階に即して計画的・系統的でしかも全市統一したカリキュラムにより、正しい知識と実践的な態度の育成を図る取組について評価できる。</li> <li>・自然災害が頻発している中において、尊い命が失われることがないように、一層の指導の工夫と改善を図り、実践的態度の育成と日頃の防災・減災への意識の醸成に努力されることを期待したい。</li> </ul>	A
3	1.互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造	③多文化共生とユニバーサル社会の推進	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中丹支援学校に呼びかけするなど、関係各所から参加者を集める工夫をして実施できている。予算規模の拡大が難しいという課題があるが、障がいの有無に関わらず交流できる機会など違った要素も含めて、継続していくことを望む。</li> <li>・今後とも、会員以外の参加も含め社会参加の場や参加者の拡大及び関係機関や団体・組織とも連携を深め、活動の一層の充実と市民への啓発が進展するように努めていただきたい。</li> <li>・様々な障害がある中で、それぞれの障害に応じた専門機関との連携が求められる。</li> </ul>	B
	2.すべての子どもが大切にされる地域づくり	①課題を抱える子どもの支援の充実	5.0	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の修・就学に向けた様々な制度の構築や支援体制の充実等、保護者負担の軽減や児童生徒の学びの確保に努めたことは評価できる。</li> <li>・様々な社会状況の変化の影響を受けやすい家庭の状況を把握することに努め、丁寧な制度の説明や他機関との連携等きめ細かな支援に向けて、児童生徒の修・就学に支障をきたすことがないように努力願いたい。</li> <li>・人材不足の解消が今後課題になってくることから、代替手段を検討する必要がある。特別支援教育などですでに行われているが、ソフトウェアなど外部リソースの積極的な活用が望まれる。</li> </ul>	A
		②地域全体で子育てを支える機運の醸成	4.8	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き世帯の利用者が増えていく中で、人材不足が課題である。地域の方々に周知をして、どのクラブでも均一に人材を確保できるよう取り組んでいただきたい。</li> <li>・保護者ニーズにも応えるとともに、地域ぐるみで子育てできる環境づくりに一層の努力を求め。</li> <li>・放課後児童クラブを利用する児童が増えている中で、一人ひとりが安心して過ごせる環境の確保を求めたい。</li> <li>・保護者が安心して就労できる環境の整備や子どもが大切にされる環境づくり、地域づくりに努め、利用者の利便性を高める実効性のある取組ができている。</li> </ul>	B+
	3.安心して出産、子育てできる環境の充実	②就学前の保育・教育の推進	4.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育・保育無償化事業で、忙しい共働き世帯の増加により、全員が手続きできていないという現状があり、今までの方法では通用しない部分があると考えられる。すべての子育て世帯が利用できるよう手続きなど新たな方法を模索する必要がある。</li> <li>・幼稚園の施設改修について、遊具の経年劣化が進んでいるとのことなので、安全性を第一に進めていただきたい。</li> <li>・今後も社会や経済状況の変化や保育ニーズなどを的確に把握し、市民の目線に立ち、安心して子育てのできる環境づくりに向けて、社会の状況の変化や将来的な見通しの中で、施設のあり方も含め様々な側面から総合的に検討していく必要がある。</li> </ul>	B
4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	①地域総ぐるみの教育の場づくりの推進	4.7	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用した活動は、豊かな心を育み人間関係を築く機会や居場所づくりなど、自尊感情や社会性を育む上でも貴重な活動であり、全中学校区において継続して実施されていることについて評価できる。</li> <li>・社会人コーチなど、専門機関の人材を活用することで教員の負担軽減になることから、継続実施していただきたい。</li> <li>・市民総ぐるみで子育てをする環境づくりを段階に応じてできている。二十歳を祝う会についてもPRに工夫をしているように、様々な段階で社会参加できる取組を継続していただきたい。</li> <li>・人材確保の面でボランティアの方に負担がかかりすぎているか注意する必要がある。</li> </ul>	B
		②子どもの学びと成長の土台づくり	4.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な学ぶ機会を確保するためにもICT環境などのインフラ整備を今後も継続していただきたい。</li> <li>・小学校の水泳指導事業は、以前にも増して軌道に乗っている一方で、アナザークラスなど新たな事業も模索している。多くの人材を確保できる状況ではなく、特定の教職員に負担が偏りすぎないように継続実施できる仕組みづくりを期待する。</li> <li>・ICT機器の活用により個別最適な学びを推進する等、実効性のある学びの環境づくりに努め、福知山ならではの教育の創出に向けて推進されていることについて大いに評価できる。</li> </ul>	B+

#### (4) 評価総括表(委員の主な意見)

政策	施策目標	施策	教育委員会		委員の主な意見	最終評価
			平均値	評価		
4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	③豊かな人間性を育む教育の実践	4.2	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の教育という面では子どもたちが感動できるような取組を継続できている一方、地域の郷土学習という面では、市外の人にも福知山のことを説明できるような、福知山独自の体験ができる機会が必要である。</li> <li>・社会全体でいじめ根絶に向けた活動などいじめ防止への継続した取組を実施していることについて評価できる。</li> <li>・今後とも心豊かに安心して生活や学習できる環境づくりや多様な体験的な学びなど、いじめ根絶に向けて効果性や継続性のある取組に発展するよう期待する。</li> </ul>	B
	2.それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	①生涯にわたり学び続けられる機会の充実	4.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、提言等を踏まえ関連する施策や事業を再構成するなど、共に幸せを生きる地域社会の実現に向けて効果性と実効性・有効性のある社会教育活動に事業展開されることを期待する。</li> <li>・提言に向けての発信をするだけでなく、誰もが社会教育や生涯学習についてわかるよう発信されていることを評価する。</li> <li>・民間の参入が少ない地域の社会教育に関しては、公的な部門の役割が大きい、本市は様々な取組をされているため、今後も継続されたい。</li> </ul>	B+
		②公民館や図書館を生かした学びの場づくり	4.2	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によって特色を出しながら事業を進められている。</li> <li>・目標値に届いていない事業があり、目標値の見直しが必要な部分もある。市の中心部と周辺部では、事情も異なることから、そういった事業では地域の実情に即した事業展開が求められる。</li> <li>・市民交流プラザでは、図書館利用が多い一方で、実績の面において公民館利用はやや少ない。今後は相互に連携した取組ができればよいのではない。</li> <li>・多機能型の公民館として新たに地域住民センターとしての機能の充実や広域避難所として充実した設備等、必要性や利便性の高い公共施設に生まれ変わりつつあることについても大いに評価できる。</li> </ul>	B
		③高校生など若者の学びへの支援	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に困難な環境にある生徒の支えとなっている一方で、所得基準を満たしていない人が申請に来られるなど、現場に混乱もあることから、必要な方へ適切な情報が届くよう事業の進め方に工夫が必要ではないか。</li> <li>・社会情勢や雇用の状況、家庭状況等、刻々と変化していく中において、引き続き事業の周知を図り、誰一人取り残さないためにもきめ細かな支援に努めていただくことを期待したい。</li> </ul>	B
	3.学びを深められる地域資源の継承・発展	①文化財の保護・活用と地域文化の継承	5.0	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護は、郷土の歴史や文化を理解するうえで重要であり郷土愛や今日特に地域づくりにとって大きな役割を果たすものであり、次世代に継承するための地道な事業として計画的に事業を展開されていることについて評価できる。</li> <li>・環境整備ができていない施設があるなど、文化財の保護には様々な困難がある中で、目標値を上回っている事業もあり評価できる。</li> <li>・今後は文化財を観光や郷土学習に活用するなど新たな展開に力を入れてほしい。</li> </ul>	A-
5	1.アクティブに人生を歩める生きがいづくり	③アクティブなまちの基盤となる地域の安心・安全	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子どもを見守るという意識を醸成し、児童生徒の命を守ることを最優先課題として多面的に活動されていることを評価する。</li> <li>・学校安全の意識を高め、校内外での活動を展開し、子どもの安全確保に努めていることは評価できる。今後は、危機に対する意識や情報の共有化、市民への周知等の安全管理と、あらゆる事態に備える危機管理に一層努めることを望む。</li> </ul>	B+
7	2.仕事と調和の取れたライフスタイルの確立	①男女共同参画の推進	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果実績が目標を大きく上回っている点は大いに評価できる。女性を対象にした取組として、時代も変わっていく中でどのような形をとるかという課題もあるだろうが、今後も継続していただきたい。</li> <li>・男女共同参画社会の実現に向け、女性の立場から意思決定ができる環境づくりに努められていることを評価したい。</li> <li>・今後は、諸課題の解決を図るため、様々な諸団体等との連携や協働をさらに推進し、女性活動の輪が広がることを期待したい。</li> </ul>	B+
9	1.公共施設の最適化	①持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置	4.9	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持・改修は、予算との関係において課題となっているが、その予算執行に当たっては、総合的・計画的に精査を図り、住民や児童生徒の安心と安全の確保に努めていることも評価できるが、予算の確保には一層努めていただくことを期待したい。</li> <li>・予算が限られている中で、優先順位を付けて取り組んでいる点は評価できるが、細かな部分の対応ができていない面も見られることから、今後も安心安全を第一に実施されたい。</li> </ul>	B

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績(指標) ・ 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) ・ 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	重点項目総合 評価	最終 評価
1	生涯学習課	1	1.協働・共創のまちづくり基盤の整備	1.地域組織や地域活動の活性化	地区公民館育成事業	地区公民館活動数	回	237/200	4	4.0	B	B+
2	学校教育課	2	1.防災・減災、災害対策の強化	1.地域防災力の強化と減災対策の推進	防災教育推進事業	振り返りワークシート 学校ごと実施率	%	100/100	5	5.0	A	A
3	生涯学習課	3	1.互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造	3.多文化共生とユニバーサル社会の推進	障害者講座事業	延べ参加人数・ 出席者/教室・講座 登録者	人	265/300 175/220	4	4.0	B	B
4	学校教育課		2.すべての子どもが大切にされる地域づくり	1.課題を抱える子どもの支援の充実	スクールライフ応援事業	対象者支給率	%	100/100	5	5.0	A	A
5	学校教育課				就学指導事業	見解に応じた就学の割合	%	70.5/100	5			
6	学校教育課				スクールサポーター配置事業	-	-	-	5			
7	学校教育課				特別支援教育推進事業	就学前スクリーニングの実施状況・ 移行支援シート活用割合(小から中)	%	99.5/100 11.3/5	5			
8	学校教育課				小学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業	全児童に対する就学援助率	%	13.5/11.5	5			
9	学校教育課				中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業	全生徒に対する就学援助率	%	14.3/11.5	5			
10	生涯学習課		2.地域全体で子育てを支える機運の醸成		放課後児童クラブ運営事業	保護者アンケートによるプラス評価	%	93/91	5	4.8	B	B+
11	生涯学習課				放課後児童クラブ整備事業	児童クラブ利用率	%	138.2/100	5			
12	生涯学習課				こだま教育推進事業	教育推進員による掲示活動・「心の教育」実践活動の参加人数(あいさつ運動は除く)	回・人	24/24 27454/20000	5			
13	生涯学習課				PTA連絡協議会共催事業	研修会・大会等参加者数(延べ)	人	401/700	4			
14	子ども政策室		3.安心して出産、子育てできる環境の実現	2.就学前の保育・教育の推進	幼児教育・保育無償化事業	認定者のうち償還払利用率	%	78/100	4	4.3	B	B



# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	最終 評価
15	子ども政策室	3	3.安心して出産、子育てできる環境の充実	2.就学前の保育・教育の推進	幼稚園児教職員健康管理事業	教職員定期健康診断受診人数・園健診(内科・歯科)受診人数	%	100/100 95/100	4	(4.3)	(B)
16	子ども政策室				幼稚園一般管理事業	-	-	-	4		
17	子ども政策室				幼稚園施設改修事業	工事完成率	%	100/100	5		
18	教育総務課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進	教育委員会一般管理事業	-	-	-	5	4.7	B
19	学校教育課				中学校部活動地域移行検討事業	休日の部活動地域移行実施校数	校	7/9	4		
20	学校教育課				社会人コーチ派遣事業	部活動指導員に配置による顧問の部活動指導時間の負担軽減率	%	28/20	4		
21	生涯学習課				はばだけ世界へ 中学生短期留学事業	海外留学応募生徒数	人	15/15	5		
22	生涯学習課				二十歳を祝う会事業	出席者の割合	%	81/100	5		
23	生涯学習課				地域で交える「地域未来塾」開講事業	出席率	%	84.4/100	5		
24	教育総務課				学校情報機器保守管理事業	ネットワーク不具合による接続不能日数	日	0/0	5		
25	教育総務課		2.子どもの学びと成長の土台づくり		小学校一般管理事業	-	-	-	4	4.5	B+
26	教育総務課				小学校スクールバス管理運行事業	バス利用児童数	人	339/339	5		
27	教育総務課				教師用教科書・指導書購入事業(小学校)	教員への教科書配布率	%	100/100	5		
28	教育総務課				理科教育設備整備事業(小学校)	理科設備を整備した学校数	校	7/7	5		

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績(指標) ・ 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) ・ 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	最終 評価
29	教育総務課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	2.子どもの学びと成長の土台づくり	小学校ICT環境整備事業	機器設置率	%	100/100	5	(4.5)  (B)	(B+)
30	教育総務課				小学校施設環境改善事業	工事完成率(便所改修・設計・工事完成率(空調設備))	%	100/100	5		
31	教育総務課				小学校水泳指導委託事業	授業を受けた児童・泳力が向上したと感じた児童	人・%	1810/1810 80.7/100	5		
32	教育総務課				中学校一般管理事業	-	-	-	4		
33	教育総務課				中学校スクールバス管理運行事業	バス利用生徒数	人	75/75	5		
34	教育総務課				教師用教科書・指導書購入事業(中学校)	教員への教科書配布率	%	100/100	5		
35	教育総務課				中学校ICT環境整備事業	機器設置率	%	100/100	5		
36	教育総務課				中学校施設環境改善事業	工事完成率(便所改修・設計・工事完成率(空調設備))	%	100/100 100/100	5		
37	学校教育課				事務局一般管理事業(学校教育課)	-	-	-	4		
38	学校教育課				市立学校アナーザークラス(A組)開設事業	不登校児童生徒の実人数の減少	%	8.2/-0.1	4		
39	学校教育課				福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト	小6全国学力状況調査(算数)・中2全国学力状況調査(数学)における低学力層の割合の減少 小6全国学力状況調査(算数)・中2全国学力状況調査(数学)における高学力層の割合の増	%	+5.3/-0.9 -1.3/-0.9 +6.5/+0.9 -7.2/+0.9	2		
40	学校教育課				響プランFまなびの充実事業	小6全国学力状況調査(算数)における低学力層の割合の減少 中3全国学力状況調査(数学)における高学力層の割合の増	%	+5.3/-0.9 -7.2/+0.9	2		
41	学校教育課				AET配置活用事業	AETの話す英語が分かるようになった割合(中学生)・AETを通して外国の文化に興味を抱いた割合(中学生)	%	73.7/100 60.6/100	4		
42	学校教育課				学校図書館機能充実事業	開館日数(授業日のうち)	%	95/100	5		

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	重点項目総合 評価	最終 評価
43	学校教育課	4	1.子どもたちの成長を 育む多様な学びの場 の充実	2.子どもの学びと成長の土 台づくり	指定校研究事業	-	-	-	4	(4.5)	(B)	(B+)
44	学校教育課				体育・文化振興事業	大会回数・ 近畿大会出場人数	回・人	5/5 33/5	5			
45	学校教育課				健康管理・学校保健事業	B型肝炎免疫率(養護教諭)・ 就学時健康診断受診率	%	91/100 100/100	5			
46	学校教育課				労働安全衛生管理体制整備 事業	月80時間以上時間外勤務者の全体 に占める割合(小学校・年間)・ 月80時間以上時間外勤務の全体に 占める割合(中学校・年間)	%	1.4/5 6.9/8	4			
47	学校教育課				心の居場所づくり推進事業	不登校児童生徒数(小中 計)・ 不登校に対する入級率(小中 計)	人・%	251/120 24.2/25	5			
48	学校教育課				小学校児童教職員健康安全 管理事業	教職員定期健康診断受診 率・ 児童・児童学校健診(内科結核等) 受診率	%	88.4/100 100/100	4			
49	学校教育課				中学校生徒教職員健康安全 管理事業	教職員定期健康診断受診 率・ 学校健診(内科結核等)受診 率	%	79.2/100 100/100	4			
50	学校教育課				中学校自転車通学安全対策 事業	ヘルメット助成該当 校ヘルメット着用率	%	100/100	5			
51	学校給食セン ター				学校給食管理運営事業	給食実施数/給食実 施予定数	回	189/190	5			
52	学校教育課				学校芸術祭事業	音楽祭参加者数・ 下村脩グランプリ応 募作品数	人・点	1200/800 1718/2500	4			
53	学校教育課				教職員資質向上事業	けやき賞応募	人	-/6	2			
54	学校教育課			3.豊かな人間性を育む教育 の実践	学校運営事業	プラネタリウム植物 園見学実施率	%	100/100	5	4.2	B	B
55	学校教育課				教育研究事業	-	-	-	4			
56	学校教育課				響プランF心の充実事業	小6全国学力状況調査回答率(自分 のよいところがあると思ふ)・ 中3全国学力状況調査回答率(将来 の夢や目標を持っている)	%	86.7/100 61.5/100	5			

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績 (指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	最終 評価
57	学校教育課	1.子どもたちの成長を 育む多様な学びの場 の充実	3.豊かな人間性を育む教育 の実践	いじめ根絶対策事業	いじめ根絶対策事業	いじめ認知件数(小 中計)	件	1610/2000	4	(4.2)	B
58	学校給食セン ター				学校給食センタージビエ活用 事業	提供回数	回	2/2	5		
59	学校給食セン ター				「人と環境に優しい」植物繊維 素材給食食器導入事業	導入数・ 導入校	回	8000/8000 23/23	5		
60	生涯学習課				少年補導センター運営事業	注意助言件数(少年 補導委員)	人	14/0	4		
61	生涯学習課				青少年健全育成事業	健全育成大会参加 者数	人	113/150	4		
62	生涯学習課	2.生涯にわたり学び続けら れる機会の充実	1.生涯にわたり学び続けら れる機会の充実	社会教育委員会議運営事業	社会教育委員会議運営事業	提言実施数	回	1/1 隔年実施	5	4.5	B+
63	生涯学習課				生涯学習一般管理事業	まちづくり出前講座 実施回数	回	11/12	4		
64	生涯学習課				夜久野町生涯学習センター事 業	利用者数	人	14241/16000	4		
65	中央公民館				中央公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	34723/44000 2432/2500	4		
66	中央公民館				川口地域公民館一般管理事 業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	4953/6400 422/600	4		
67	中央公民館	2.それぞれの人に適 した、生涯を通じた学 びの場づくり	2.公民館や図書館を生かし た学びの場づくり	日新地域公民館一般管理事 業	日新地域公民館一般管理事 業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	6801/21000 549/1500	4	4.2	B
68	中央公民館				北陵地域公民館一般管理事 業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	3765/4000 195/200	4		
69	中央公民館				六人部地域公民館一般管理 事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	7288/22500 717/3200	4		
70	中央公民館				成和地域公民館一般管理事 業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	24631/28000 1687/1500	4		

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	最終 評価
71	中央公民館	4	2.それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	2.公民館や図書館を生かした学びの場づくり	桃映地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・公民館利用件数	人・件	13259/125000 1267/1400	4	(4.2)	(B)
72	中央公民館				三和地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・公民館利用件数	人・件	6824/8200 675/700	4		
73	中央公民館				夜久野地域公民館一般管理事業	夜久野町旧小学校体育施設利用者・夜久野町旧小学校体育施設利用件数	人・件	1382/1500 153/200	4		
74	中央公民館				大江町総合会館運営事業	総合会館利用人数・総合会館利用件数	人・件	16468/25000 548/700	4		
75	中央公民館				地域公民館等施設改修事業	地域公民館等施設利用者数	人	124479/128000	5		
76	中央公民館				スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業	概ね満足された人の割合	%	90/100	5		
77	中央公民館				大江地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・公民館利用件数	人・件	4364/6000 596/500	4		
78	中央公民館				市民交流プラザふくちやま管理運営事業	市民交流プラザふくちやま利用者数・市民交流プラザふくちやま利用件数	人・件	344903/423000 3970/6400	4		
79	中央公民館				中央公民館及び地域公民館事業	一般講座参加者数・講座参加者満足度	人・点	5753/8000 4.45/5	4		
80	図書館				資料収集整理事業	年間来館者数(全館)・実利用人数(貸出人数)	人	257684/220000 9966/12200	4		
81	図書館				中央館運営事業	年間来館者数・実利用人数(貸出人数)	人	237710/196000 9866/12200	4		
82	図書館				三和分館運営事業	年間来館者数	人	5732/7000	4		
83	図書館				夜久野分館運営事業	年間来館者数	人	9042/11000	4		
84	図書館				大江分館運営事業	年間来館者数	人	5400/6000	4		

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績 (指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	最終 評価
85	図書館				佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業	保護者による10か月児への読みかけ実証書・図書館の児童書・絵本貸出冊数	%・冊	91/90 266136/287394	4		
86	図書館				図書館システム機器等更新事業	更新作業に伴う障害発生件数	回	0/0	5		
87	図書館	2.それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	2.公民館や図書館を生かした学びの場づくり		図書館電子書籍貸出サービス事業	年間電子書籍貸出数・年間電子図書館閲覧数	点・回	152825/180000 335551/360000	4	(4.2)	(B)
88	図書館				三和分館移転改修事業	三和支所への移転	式	1/1	5		
89	学校教育課			3.高校生など若者の学びへの支援	高等学校等入学支援金支給事業	受給者数・希望進路(高校進学)をかなえた割合	人・%	19/24 100/100	4	4.0	B
90	文化・スポーツ振興課				川上南古墳群・笹尾矢見所城跡発掘調査事業	現地調査	件	1/1	5		
91	文化・スポーツ振興課	4			歴史公文書等調査整理研究事業	展示回数	回	2/2	5		
92	文化・スポーツ振興課				文化財保全事業	維持管理・修繕未解決事項	件	0/0	5		
93	文化・スポーツ振興課				夜久野町化石・郷土資料館運営事業	入館者数	人	265/200	5		
94	文化・スポーツ振興課		3.学びを深められる地域資源の継承・発展	1.文化財の保護・活用と地域文化の継承	日本の鬼の交流博物館運営事業	入館者数・取材等に伴うマスメディア登場回数	人・回	10158/10000 29/25	5	5.0	A
95	文化・スポーツ振興課				文化財整理事業	資料の保管状況	-	異常なし	5		
96	文化・スポーツ振興課				文化財資料移転事業	移転未保管件数	件	0/0	5		
97	文化・スポーツ振興課				文化財保護啓発事業	文化財指定件数	件	11/1	5		
98	学校教育課	5	1.アクティブに人生を歩める生きがいづくり	3.アクティブなまちの基盤となる地域の安心・安全	子ども安全対策事業	交通安全旗配布数・子ども地域安全セミナー参加者数	本・人	300/400 132/150	4	4.0	B
											B+

# 事業別評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名 称	成果実績 (指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合 平均値	重点項目総合 評価	最終 評価
99	生涯学習課	7	2.仕事と調和の取れたライフスタイルの確立	1.男女共同参画の推進	婦人教育事業	市民参加者数	人	436/300	4	4.0	B	B+
100	教育総務課	9	1.公共施設の最適化	1.持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置	小学校施設改修事業	工事完成率・ 営繕実施完了率	%	100/100 100/100	5	4.9	B	B
101	教育総務課				小学校施設長寿命化事業	工事完成率	%	100/100	5			
102	教育総務課				中学校施設改修事業	工事完成率・ 営繕実施完了率	%	100/100 100/100	5			
103	教育総務課				中学校施設長寿命化事業	工事完成率	%	100/100	5			
104	学校給食センター				学校給食センター設備改修事業	業務完了率	%	100/100	5			
105	生涯学習課				旧勤労青少年ホーム施設管理事業	教育相談延べ件数	件	1480/1200	5			
106	生涯学習課				教育文化会館管理運営事業	施設利用者数	人	2384/8000	4			
107	生涯学習課				和久市公園管理事業	-	-	-	5			
108	中央公民館				桃映地域公民館等整備事業	桃映地域公民館新築完了	件	0/1	5			
109	中央公民館				地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業	長寿命化大規模改修完了	件	1/4	5			

成果実績が「-」の事業は定性的な面により評価

## 10 おわりに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に基づく、福知山市教育委員会が行った教育に関する事務の点検・評価につきましては、点検評価委員3名からの幅広い見地からの貴重な御意見をいただきながら、「まちづくり構想 福知山」の施策毎に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施しました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が収まりつつある状況を踏まえ、ポストコロナ時代の教育環境の整備に努め、デジタル化の推進や地域連携の強化といった新たな課題に対応しながら、生涯にわたって学び続けられる教育の在り方を模索し、学びの機会の拡充と質の向上に取り組んでまいりました。

評価方法については、「事務事業評価シート」を活用し、各事務事業の業績指標の「成果実績（実績／目標）」のほかに「定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題」も含めて、事業単独での成果を達成度により評価し、施策毎に平均化して事務の評価としています。

さらに、点検評価委員の評価が反映できるように、点検評価会議での議論による意見を最終評価とすることとしました。

なお、点検評価会議での意見を踏まえ、各事務事業の具体的な目標設定を図り、更に分かりやすい点検・評価報告となるように努めてまいります。

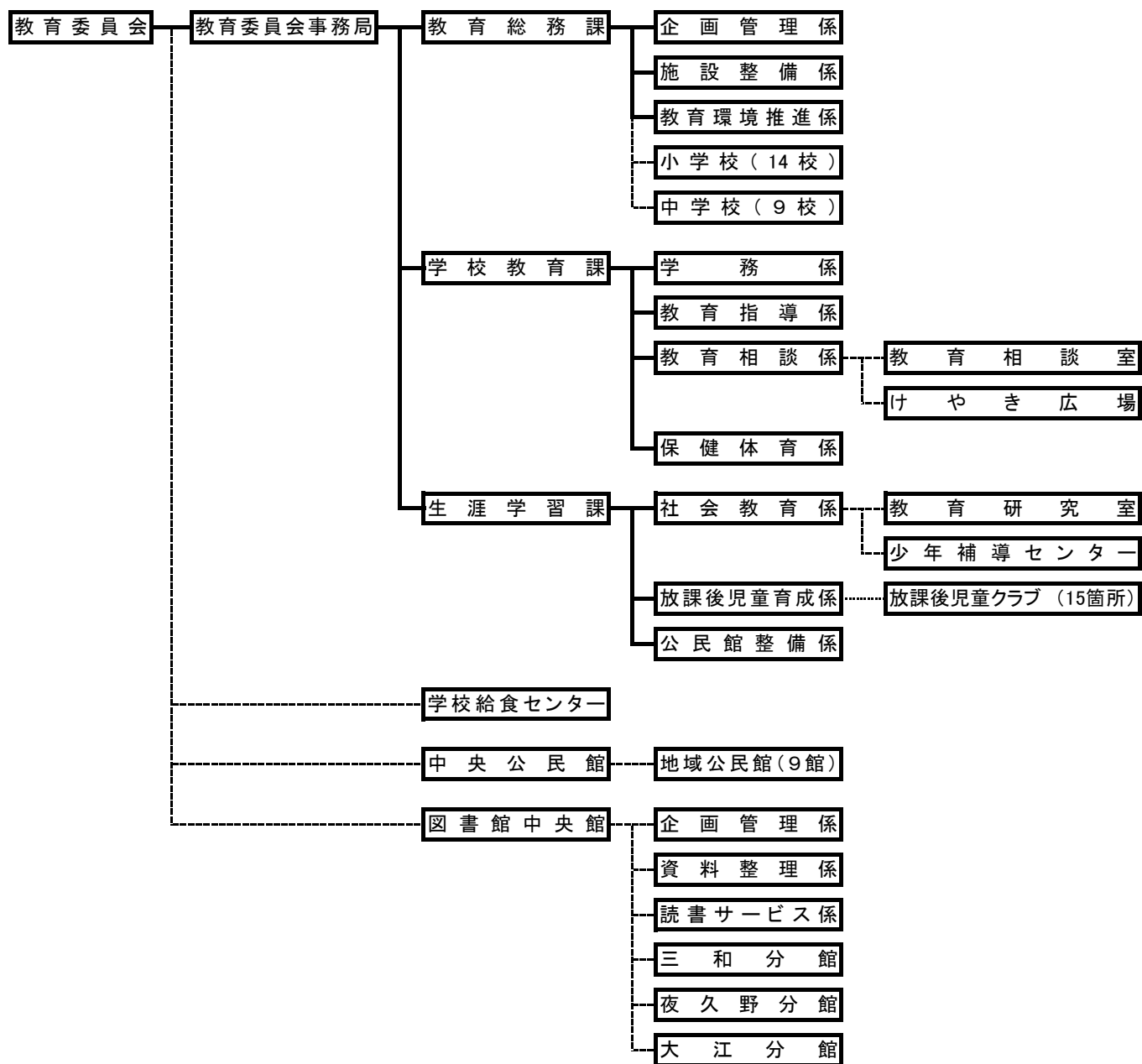
この教育委員会教育事務に関する「点検・評価」については、その結果を議会に報告し公表することにより、教育委員会の責任体制の明確化を図るものとして、地教行法に義務づけられています。福知山市教育委員会といたしましても、毎年の事務事業の結果を点検・評価したうえで、その改善策を検討し、これを実行に移すという、PDCAサイクルの過程を公表していくことは、教育委員会の果たすべき役割とその意義を広く市民の皆様にご知っていただく絶好の機会であると捉えています。

今後もこの「点検・評価」により、自己の業務を振り返り更なる改善に努めるとともに、市民の皆様に対してより一層わかりやすく丁寧な説明を心がけ、市民の皆様とともに歩む教育行政の推進に取り組んでまいります。



## 11 資料

### (1) 教育委員会組織機構図（令和5年度）



## (2) 教育委員会事務分担表（令和5年度）

教育総務課	<p>委員会の議事及び秘書に関すること。</p> <p>儀式及び表彰に関すること。</p> <p>条例、規則等の制定、改廃等法制に関すること。</p> <p>市費負担職員（幼稚園を除く。以下同じ。）の人事、給与及び服務に関すること。</p> <p>学校（幼稚園を除く。以下同じ。）の設置、廃止及び認可に関すること。</p> <p>学校施設（幼稚園を除く。以下同じ。）の整備に関すること。</p> <p>学校の教材、教具及び設備に関すること。</p> <p>委員会の重要施策の総合調整及び統括に関すること。</p> <p>委員会の予算の調整及び執行管理に関すること。</p> <p>委員会の職員の研修及び能力開発に関すること。</p> <p>委員会の主管事務に係る法制に関すること。</p> <p>委員会の所管に係る財産管理の総括に関すること。</p> <p>委員会の広報及び広聴に関すること。</p> <p>分掌事務に係る教育行政に関する相談。</p> <p>他課の主管に属しないこと。</p>
学校教育課	<p>府費負担教職員の人事、給与及び服務に関すること。</p> <p>教職員の研修及び健康管理に関すること。</p> <p>教職員の組織する職員団体に関すること。</p> <p>学校教育の指導に関すること。</p> <p>児童生徒の就学、その他学事に関すること。</p> <p>高校生、大学生等の就学奨励及び修学奨励に関すること。</p> <p>学校給食並びに学校保健体育及び安全に関すること。</p> <p>分掌事務に係る教育行政に関する相談。</p> <p>その他学校教育に関すること。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習に関すること。</p> <p>成人教育、青少年教育及び婦人教育に関すること。</p> <p>社会教育施設の整備に関すること。</p> <p>少年補導センターに関すること。</p> <p>放課後児童クラブに関すること。</p> <p>ユネスコ活動に関すること。</p> <p>分掌事務に係る教育行政に関する相談。</p> <p>その他社会教育に関すること。</p>
学校給食センター	<p>学校給食センターの管理運営に関すること。</p> <p>給食数の把握及び調理食数の指示に関すること。</p> <p>給食用食材料費の支出事務及び給食費会計決算事務に関すること。</p>
中央公民館	<p>公民館の管理運営に関すること。</p> <p>公民館の育成に関すること。</p> <p>公民館講座に関すること。</p>
図書館中央館	<p>図書館の管理運営に関すること。</p> <p>図書資料の選定・管理に関すること。</p> <p>移動図書館の運行管理に関すること。</p>

### (3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成23年3月30日  
教育委員会告示第2号

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、福知山市教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し、必要な事項を定め、もって効果的教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的とする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属するもので、前年度に実施した事務とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 前条に規定する事務について、所管する課等が点検及び評価表を作成する。

2 点検及び評価の方法並びに結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者（以下「点検評価委員」という。）から意見を聴取する。

3 点検及び評価に関し必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。

(点検評価委員)

第4条 点検評価委員は3人以内とし、委員会が委嘱するものとする。

2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告)

第5条 委員会は点検及び評価にかかる結果を市議会に報告し、かつ、公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成、事務事業の改善等に活用するものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務課において処理するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年12月1日から施行する。

この告示は、令和元年9月4日から施行する。

令和6年度（令和5年度対象）  
**福知山市教育委員会点検・評価報告書**  
発行 令和6年12月  
編集 福知山市教育委員会

〒620-8501  
京都府福知山市字内記13番地の1  
TEL 0773-22-6111（代表）  
FAX 0773-24-4880